

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【岸町小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策	
目標	策
知識・技能 R4年度市学習状況調査の自校結果より、国語・算数の「知識・技能」の学校平均正答率を1pt向上させる。	⇒ ミライシードやスタディ・サブリ等のアプリやスクールダッシュボードを活用することで、個別最適な学びを充実させる。
思考・判断・表現 R4年度市学習状況調査の自校結果より、国語・算数の「思考・判断・表現」の学校平均正答率を1pt向上させる。	⇒ 学級の実態や学び方に応じて教室の机の配置を工夫したり、ミライシードやムーブノート等のアプリを活用したりすることで、児童の話し合い活動を充実させ、協働的な学びを深めるとともにエイジェンシーの向上を図る。
主体的に学習に取り組む態度 R4年度市学習状況調査の自校結果より、国語・算数・理科・社会の無回答率をそれぞれ1pt減少させる。	⇒ 本物を見せたり聴かせたりといった体験活動を多く取り入れる。「傾聴・共感・否定せず・最後まで」をキーワードに子どもを「その気」にさせる授業づくりを行う。

<小6・中3>(4月~5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	R5年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R4年度全国学力・学習状況調査の自校結果と比較したところ、下回る結果となった。国語、算数ともに全国平均を上回ったが、算数の図形の性質を捉える問題に課題が見られた。
思考・判断・表現	R5年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R4年度全国学力・学習状況調査の自校結果と比較したところ、下回る結果となった。国語、算数ともに全国平均を上回ったが、国語の資料をもとに自分の考えや意見を伝え合う問題に課題が見られた。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・全国学習状況調査の無回答率において、R4年度全国学力・学習状況調査の自校結果と比較したところ、上回る結果となった。国語、算数ともに無回答率が上昇しており、課題が見られた。

①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析			
小3		小4	
小5		小6	

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)	
目標	策
知識・技能 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、方策を追加し、さいたま市学習状況調査において、市平均よりも国語・算数の学校平均正答率を全ての学年において6pt以上向上させる。	⇒ 全国学力・学習状況調査の結果から、図形の性質をとらえる問題に課題がみられたため、実物を見せたり、触ったりしながら学習できる授業を多く設定する。
思考・判断・表現 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、方策を追加し、さいたま市学習状況調査において、市平均よりも国語・算数の学校平均正答率を全ての学年において6pt以上向上させる。	⇒ 全国学力・学習状況調査の結果から、資料をもとに考える問題に課題がみられたため、教科横断的な視点での授業づくりを積極的に行う。
主体的に学習に取り組む態度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、方策を追加し、さいたま市学習状況調査において、全ての学年において、国語・算数の無回答率を市平均よりも下回らせる。	⇒ 日頃の授業から「学びの足跡」を残すことの大切さについて考えさせる。